



## 生活を見つめ直し、よりよくしていく家庭科授業を！

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のために臨時休業が続いていましたが、いよいよ学校が再開されました。学校には、子供たちの明るい笑顔と元気溢れる声が不可欠ですね。日頃子供たちからどれだけ多くの元気と勇気をもたらっていたかを痛感しています。まだまだ安心できる状況ではありませんが、感染防止と共に、子供たちが安心して学校生活を過ごすことができる環境と学びの保障を、みなさんで知恵を出し合い工夫して取り組んでいきましょう。

さて、臨時休業中の「家庭科」家庭学習として、  
みなさんはどんな課題を提示しましたか？

「簡単な調理実習」

「手作りマスクなどの小物づくり」

「家庭の仕事や生活時間の見直し」 など・・・



家庭科の学びには、日常生活の中で役立つことがたくさんあります。家庭で過ごす時間が多くなったこの時期、家庭生活に関心を持ったり、家庭科で身につけた力を発揮したりする場につながったのではないのでしょうか。一方で、日常生活の中で新たな発見や疑問をもったり、家族の一員として自分にできることを考えたりする機会にもなったことでしょう。

新学習指導要領では、学習した知識及び技能などを実生活で活用するための内容の充実として、内容A（4）「家族・家庭生活についての課題と実践」が新設されました。臨時休業中の家庭での様々な経験を生かしながら、自分の課題を設定し、課題解決に向けて、計画を立て、家族や地域の人々と関わりながら実践できるようにすることもできそうです。その際、自分だけではなく、家族や地域の人々にとってよりよい生活とはどのようなものなのかを考えることも大切ですね。

本年度は、残念ながら第1回・第2回の市教研が中止となりました。一堂に会しての研修会は実施できませんが、みなさんが抱えている課題や悩みを共有したり、家庭科学習における感染症対策や年間指導計画の組み替えなどについて情報交換したりする場として、家庭科だより「まど」や「ミライムメッセージ」を有効活用していきたいと考えています。

「ピンチをチャンスに！」 小・中・高等学校と継続する家庭科学習の学びの基盤とも言える小学校家庭科だからこそ、子供たちが学ぶ意義を感じる家庭科授業を心掛けていきましょう。本年度もよろしくお願いいたします。

## 小学校消費者教育教材の紹介

今年度の始め、消費者教育掲示教材としてポスター2枚と指導ガイドが各小学校に配付されました。忙しくてなかなか目を通せない先生方のために、今回は中身について少し紹介したいと思います。



### ポスターA「フェアトレードマスターをめざそう」について

フェアトレードとは、発展途上国の原料や商品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「貿易のしくみ」のことです。チョコレート为例に、フェアトレードについて楽しく学ぶことができます。

#### ねらい

フェアトレードを知らない児童がフェアトレードについて理解を深める。

#### 活用例

- ・家庭科「じょうずに使おう お金と物」5年  
商品を選ぶ際の情報の1つとしてフェアトレードのマークを知り、目的に合った物の選び方を考える。
- ・社会科「世界の未来と日本の役割」6年  
フェアトレードマークをきっかけに、国際社会において日本が果たしている役割について考える。



### ポスターB「写真を見て考えよう・やってみようエシカル消費」について

エシカル消費とは環境に配慮した消費行動のことであり、2015年に国連で採択された世界の課題を解決する具体的な目標であるSDGs（持続可能な開発目標）と深く関連しています。写真から問題に気付いたり、話し合い活動のテーマとして考えたりすることができます。

#### ねらい

地球が抱えている問題に気づき、それらが私たちの暮らしと深くつながっていることを理解する。

#### 活用例

- ・家庭科「くふうしよう おいしい食事」6年  
商品を選ぶ際の無駄のない消費行動について考え、自らの生活を振り返り、改善につなげる。
- ・朝会「SDGs 未来都市浜松」全学年  
浜松がSDGs未来都市であることを知り、達成を目指す17の目標から自分にできることを考える。



※授業内での活用が難しければ、家庭科や校内の掲示としても使えます！  
ぜひご活用ください。

## お知らせ

### 第57回 全国小学校家庭科教育研究会 全国大会 東京大会 紙上発表

- 1 研究主題 「よりよい生活を自ら創り出す子供の育成」
- 2 全体指導 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官  
国立教育政策研究所教育課程研究センター  
教育課程調査官 丸山 早苗 氏

### 第6回 東海・北陸地区小学校家庭科教育研究会 静岡大会 縮小開催

- 1 研究主題 「豊かな心と実践力を育み、未来を拓く家庭科教育」  
～ 学びをつなぎ、生活の中で実践する力の育成を目指す ～
- 2 日 程 令和2年12月2日（水） 公開授業・全体会・講演会
- 3 会 場 富士市立富士南小学校
- 4 全体会 講師：文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官  
国立教育政策研究所教育課程研究センター  
教育課程調査官 丸山 早苗 氏  
指導講評：静岡大学教育学部 准教授 小清水 貴子 氏

## 第3回の市教研について

- ・日時 11月4日（水）14：00～
- ・会場 教育センター



今年度は授業研ではなく、小学校家庭科部の全体会とします。初めて集まる研修会であり、新学習指導要領や評価についてたくさん知りたいという声が多かったため、静岡大学の小清水貴子准教授の講演を予定しています。また、変更がありましたらミライムでお知らせします。

## 新型コロナウイルス感染症対策マニュアル

### ～指導に関する注意事項「家庭科」から～

- ・単元を入れ替えるなど年間指導計画を見直し、当面の間、調理実習は見合わせること。
- ・被服実習を行う際には、児童生徒同士が近距離で作業することを避け、実習台や共用の用具の消毒を行うこと。



## 令和2年度 小学校家庭科研究部組織紹介

顧問校長	山田 真代子	(城北小学校)	部長	鈴木 やよい	(蒲小学校)
	柳瀬 美穂	(豊西小学校)	副部長	米山 香奈	(大瀬小学校)
顧問教頭	内山 昌俊	(北浜東部中学校)		鈴木 明日佳	(鴨江小学校)
	坪井 百合子	(初生小学校)		河村 鮎美	(追分小学校)

### 【部長あいさつ】

小学校家庭科部の部長を務めさせていただくことになりました。今年度は、「よりよい生活を自ら創り出す子供の育成」をテーマとし、研修を進めていきます。学習指導要領の改訂に伴う評価の仕方やICTの活用、新しい教科書についてなど、日々の実践で必要となる内容について、焦点を当てて進めていきたいと考えています。

さて、4月よりコロナ禍の影響により、予定されていた研修会の中止が続き、小学校家庭科部としての活動が思うようにできませんでした。しかし、その中でもミライムを通じて、家庭科主任の先生方と家庭科の学習について、情報交換できました。今後の状況もまだ不安ではありますが、前回の教訓を生かし、新しい形を取り入れながら今後も共に学んでいきましょう。そのためにも、研修を充実させていきたいと思えます。

1年間よろしくお願いいたします。

小学校家庭科部 部長 鈴木やよい

### 【編集後記】

昨年度に引き続き、本年度も小学校家庭科部の家庭科だより「まど」を担当させていただきます。コロナ禍の影響により、従来の研修や授業のスタイルを変えていくことが求められています。試行錯誤の一年になるかと思いますが、多くの先生方の知恵をお借りしながら、充実した家庭科の授業づくりの一助となるよう努めていきたいと思えます。

1年間よろしくお願いいたします。

まど担当 副部長 鈴木 明日佳